

寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所
テーマ名	島根県電気工事工業組合青年部寄附「子育てや社会教育の推進」
事業名	中村元記念館ハイブリッド（双方向対話が可能なオンライン）配信事業
事業費（うち助成金額）	¥706,291（¥300,000）
ネーミングライツ（該当があれば）	※NPO活動推進室記載箇所



質疑応答する受講生



第8回中村元東洋思想文化賞授賞式オンライン配信の様子

■事業目的

近年導入したZOOMによるオンライン講義により、遠方の人とも気軽に繋がる事が出来るようになったが、講義を行うにあたっては必要機材が未だ不十分であった為、対面の参加者とオンライン上の参加者とで、音声の聴こえ方等差が生じてしまっていた。その差をなくすため、オンラインの、特に双方向からのコミュニケーションがとれるような機材を導入し、今までオンライン講座を受けていた方にはより質の良いものを、初めての方にも安心して受講できるような環境を整えることを目的とした。

■事業内容

- ・オーディオミキサーやマイクをはじめとしたハイブリッド配信に必要な機材の購入。
- ・オンライン参加者と中村元記念館会場の参加者と講師が相互にコミュニケーションをとることができるような講義の開催。
- ・オンラインの動作に不安を感じる参加者や、初めてハイブリッド講義をされる講師の方に向けてマニュアルを作成し、動作方法のレクチャーを行った。
- ・今年第8回目を迎えた、東洋思想研究を志す次世代を担う研究者（大学生・大学院生）の助成を目的として設立された「中村元東洋思想文化賞」の授賞式の模様を中村元記念館の会場からオンライン配信した。

■事業成果と今後の展望

ハイブリッド機材を用いることで全ての参加者に音声がキレイに届けられ、オンライン参加者も記念館会場の参加者も同条件で講義が出来るようになった。また、音が綺麗に聞こえるようになったことで相互の質疑応答が増加し、その結果議論が増え、一層講義の質を上げることが出来た。

マイクを1本から2本（1本はワイヤレスマイク）に増やしたことで、効率的に質疑応答が行われ、講師はもとより受講生同士の活発な議論も増え、充実的な講座内容になった。

ハイブリッドで行われた「第8回中村元東洋思想文化賞授賞式」では、優秀賞受賞者による特別講演も行い、国内はもちろん、海外の方にもオンライン配信をとおして中村元記念館と文化賞のことを知っていただくことが出来た。

今後も継続してハイブリッドの講義を行い、より多くの方に安心して講義を受けてもらえるような環境づくりに努めたい。また、将来的にはインドをはじめとした海外の研究者の方とオンライン上で繋がり、議論を深めていくことで、研究者同士のコミュニティの輪を広げる架け橋の役目も果たしていきたいと考えている。そのことは、博士の大きな研究テーマである『比較思想』の第1歩に繋がると信じている。